



11月4日に開催された「人工知能戦略専門調査会(第2回)」の内容と反応・評価

2025年11月4日17時30分から19時30分まで、中央合同庁舎8号館8階講堂で開催された人工知能戦略専門調査会(第2回)について、会議資料と各方面の反応を調査しました。

会議の主要議題と内容

1. 人工知能基本計画骨子案^[1] ^[2]

会議では「世界で最もAIを開発・活用しやすい国」を目指す基本計画の骨子案が議論されました。主要な方針として以下の4つの柱が示されています:^[1]

AI利活用の加速的推進(「AIを使う」): 政府・自治体でのAIの徹底した利活用、ガバメントAIの推進、社会課題解決に向けた医療・介護・教育・防災などでの活用促進

AI開発力の戦略的強化(「AIを創る」): フィジカルAI、AI for Science、創薬AIの3分野への集中投資、日本の強みとなる産業・医療・研究分野の質の高いデータを活用した「信頼できるAI」の開発

AIガバナンスの主導(「AIの信頼性を高める」): 広島AIプロセスの推進、国際的なAIガバナンスでのリーダーシップ発揮

AI社会に向けた継続的変革(「AIと協働する」): AI人材の育成・確保、産業や雇用のあり方、制度や社会の仕組みの先導的・継続的な変革

2. 関係府省庁の取組(資料1-2)^[3]

知的財産戦略推進事務局: AI事業者による学習データの開示や生成AIの認証など、透明性確保を促す仕組みの検討^[3]

デジタル庁: 生成AI利用環境「源内」の他省庁への展開(2026年1月から試行、2026年度中に全府省庁展開)、ガバメントAI基盤の本格的構築(2025年12月頃~)^[3]

総務省: 広島AIプロセスの推進、AIセキュリティガイドライン策定(年度内)、日本語データの整備・提供、Beyond 5Gの研究開発^[3]

外務省: 広島AIプロセス・フレンズグループの拡大(インドネシア・エジプトが新規参加)、グローバル・サウス諸国との協力^[3]

文部科学省: AI研究開発力強化、AI for Scienceの推進、AI人材育成、生成AIの教育活用^[3]

厚生労働省: 介護におけるAI導入促進、創薬×AI、手術×AI(メディカルアーツ事業)、AI人材のリスクリング支援^[3]

経済産業省: 領域特化モデルの開発、国産汎用基盤モデル開発の検討、計算資源の整備、AI人材育成、AIロボティクスの開発支援^[3]

3. AI法に基づく指針骨子(たたき台)概要(資料2-1)^[4]

「人間中心のAI社会原則」を踏まえ、AIの研究開発・活用における適正性確保の考え方を提示。主体別に配慮すべき事項を整理:^[4]

適正性確保の考え方: 人間中心、プライバシー保護、セキュリティ確保、公正競争確保、公平性・安全性・透明性・アカウンタビリティ、リテラシー、イノベーション

適正性確保のための基本方針: リスクベースでのアプローチ、アジャイルな対応、ステークホルダーの積極的な関与、一貫通貫でのAIガバナンスの構築

AIリスクへのアジャイルな対応: AIセーフティ・インスティテュート(AISI)によるAIモデルの技術的評価、AI法第16条に基づく調査研究、各府省庁ガイドラインを有機的に組み合わせて対応^[4]

4. 小野田紀美AI戦略担当大臣の発言^[5] ^[6]

会議冒頭、小野田大臣は「基本計画と指針の骨子は、AI利用に関する国民の不安を払拭し、AI利用を促進していくための鍵となるもの」と述べ、「AIは社会課題の解決や産業競争力の強化に不可欠な国力を採用する技術。世界でAIの開発競争が激化する中で我が国もまずはAIを使ってみる。その上でAIでイノベーションを生み出していくことで反転攻勢を仕掛けなければならない」と強調しました。また、「AI基本計画を年内目途に策定する」との方針を示しています。^[6] ^[5]

各方面からの反応・評価

1. 政府・行政の反応

ポジティブな評価: 内閣府は第2回会合について「各委員より、様々な観点からの闊達な意見をいただいた」と報告しており、議論が活発に行われたことを示しています。^[5]

AISI(AIセーフティ・インスティテュート)の強化: 政府は「AIの安全性を評価する政府機関、AIセーフティ・インスティテュート(AISI)の機能を強化し、リスクの実態把握と対応を進める方針を強調」しています。^[2]

2. 読売新聞社説による批判的指摘^[7] ^[8] ^[9]

読売新聞は2025年10月16日の社説で「AI基本計画 リスク軽視し過ぎていないか」と題して批判的な論評を展開しています:^[7]

リスク対応の不十分さ: 「基本計画の骨子は『AIがもたらすリスクに多くの国民が不安を抱いている』とも記しているが、そのリスクにどう対処するか、具体策は十分に示していない」^[7]

推進一辺倒への懸念: 「生成AIが、偽情報の拡散や犯罪に悪用されるケースが目立っている。AIの活用を促すにしても、リスクを軽視していたら、国民にいくら活用を呼びかけても、理解は得られまい」^[7]

法規制の必要性: 「政府は、しっかりとした法規制の議論に取り組むべきだ」と提言^[7]

読売新聞は過去にも2023年6月の社説で「AI戦略会議 リスクを深刻に受け止めよ」と題し、生成AIのリスク(個人情報の不適正利用、偽情報の氾濫、犯罪の巧妙化、著作権侵害など)への対応が不十分であると警告していました。^[8]

3. 産業界・経団連の反応^{[10] [11]}

基本的に歓迎ムード: 産業界は総じて歓迎姿勢を示しており、経団連などは早速内部会合で基本計画骨子案について議論する場を設けています。^[10]

官民連携への期待: 産業界からは「政府が司令塔となりAI戦略を打ち出した意義は大きい。今後は民間との対話を重ね、現場の知見を政策に反映してほしい」といった協調的・建設的な意見が多く、官民連携による戦略推進への期待が伺えます。^[10]

支援策への要望: 「生成AI時代に日本企業が埋もれないよう、国としての支援が必要」との声も上がっています。^[10]

4. 専門家・研究者の反応

ポジティブな評価: 第1回AI戦略専門調査会の座長には東京大学教授の豊田啓介氏が就任し、東京カレッジの江間有沙准教授なども参加しており、以前の戦略会議や制度研究会に関与していた専門家も多く名を連ねています。^[12]

実効性への懸念: 一部の専門家からは、「計画の実効性を見極めようとする慎重な視点」や「対応が後手に回った」という指摘も見られます。^[10]

国際比較の視点: 専門家は日本のAI投資額が世界14位(9億ドル、米国の120分の1)であり、個人利用率26.7%(中国81.2%、米国68.8%)、企業利用率55.2%(中国95.8%、米国90.6%)と大きく後れを取っている現状を指摘しています。^[13]

5. 知的財産分野からの反応

透明性確保の重要性: 知的財産戦略推進事務局は、AI事業者による情報開示が進んでおらず、クリエイターや権利者が「自己のデータが利用されているかが不明であるため、ライセンスによる対価還元の機会が得られない」という懸念を表明しています。^[3]

対価還元の仕組み検討: 10月24日のAI時代の知的財産検討会では、データの収集や生成AIに係る開示・表示、保護データに係る対価還元、侵害防止技術などについて審議されています。^[3]

6. 海外からの評価^[14]

イノベーション重視への理解: 日本のAI推進法がイノベーション促進を重視する「ソフトロー」として設計されていることに対して、米国は一定の共感を示しています。^[14]

実効性への疑問: EUの観点からは、法的拘束力や罰則規定がない「ソフトロー」がAIのリスク(特に人権侵害、差別、偽情報など)に対してどこまで実効性を持ちうるのかという点が疑問視されています。^[14]

国際標準との調和: 日本のソフトロー的なアプローチが、将来的にグローバルなAIガバナンスの中でどのように機能し、EUの基準とどう連携・差異化していくのかが注目されています。^[14]

7. 報道機関の評価

概ね前向きな報道: 一般的な報道では、政府の積極的な姿勢や「反転攻勢」の意気込みを前向きに評価する論調が見られます。^{[15] [10]}

慎重な視点: ただし少数ながら「対応が後手に回った」という指摘や、計画の実効性を見極めようとする慎重な視点も報じられています。^[10]

8. 実装上の課題指摘^[16]

研究者からは、日本のAI社会実装を阻む5つの「根源的イシュー」として以下が指摘されています:^[16]

「PoC貧乏」の罟: 実証実験(PoC)には熱心だが、事業全体への展開(スケール)で頓挫する傾向

組織とデータのサイロ化: 部門間の壁が厚く、データ連携が困難

AI人材の絶望的不足: ビジネス課題とAI技術を結びつける「翻訳者」的人材の不足

ROI(投資対効果)の呪縛: 短期的な成果を求める傾向

変革を拒む組織文化: 失敗を恐れる文化、稟議制度、漸進的改善を好む気質

9. 広島AIプロセスへの評価^{[17] [13]}

国際的リーダーシップ: 日本が主導する広島AIプロセスは、2023年のG7広島サミットで合意された国際的なAIガバナンスの枠組みとして、グローバル・サウス諸国にも拡大しており、日本の国際的な存在感を示す取り組みとして評価されています。^{[13] [3]}

フレンズグループの拡大: 2025年時点で56カ国が参加するフレンズグループが形成され、インドネシアとエジプトが新たに参加するなど、着実に拡大しています。^{[17] [3]}

今後の展望と課題

スケジュール^[1]

- 2025年年内目途: AI戦略本部会合への報告、閣議決定
- 基本計画は当面毎年変更を行う方針^[1]

主要な課題

リスク対応と推進のバランス: 読売新聞が指摘するように、イノベーション促進とリスク対応のバランスをどう取るかが最大の課題^[7]

実効性の確保: 計画の理想と現実のギャップをどう埋めるか、特に組織文化や人材不足などの構造的課題への対応^[16]

国際協調と日本の独自性: 広島AIプロセスを主導しつつ、日本の文化・習慣を踏まえた「信頼できるAI」をどう開発するか^[1]

AISI(AIセーフティ・インスティテュート)の強化: AI安全性評価の中核機関として、国際AISIネットワークとの連携を深めながら、評価手法や基準の確立を進める必要^[18] ^[2]

総括

第2回人工知能戦略専門調査会は、日本のAI戦略の具体化に向けた重要な一歩として、関係府省庁の具体的な取組やAI指針の枠組みが示されました。産業界や専門家からは基本的に歓迎される一方、読売新聞などからはリスク対応の不十分さを指摘する批判的な意見も出ています。今後は、イノベーション促進とリスク対応のバランスを取りながら、具体的な施策の実効性をいかに確保していくかが問われることになります。^[7]

※

1. shiry01_1.pdf
2. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA304HS0Q5A031C2000000/>
3. shiry01_2.pdf
4. shiry02.pdf
5. https://www.cao.go.jp/minister/2510_k_onoda/photo/2025_011.html
6. <https://www.youtube.com/watch?v=f5CW53I4SRA>
7. <https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20251016-OYT1T50001/>
8. <https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20230601-OYT1T50232/>
9. <https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20240524-OYT1T50002/>
10. <https://yoroziupsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/18ab0067e6e445d30b29.pdf>
11. <https://www.digital.go.jp/councils/ai-advisory-board/5fbbbf70-77fc-46be-ae8b-85df7fc57a7e>
12. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA199740Z10C25A9000000/>
13. <https://blog.scuti.jp/japan-ai-strategy-2025-counteroffensive-from-14th-place/>
14. <https://innovatopia.jp/tech-social/tech-social-news/56179/>
15. <https://news.yahoo.co.jp/articles/75c49872a61bf55aa830715ad42492fd770e9e41>
16. <https://www.enegaeru.com/japansnational-ai-strategyartificialintelligencebasicplan>
17. https://www.tc.u-tokyo.ac.jp/blog/wp-content/uploads/2025/07/20250728_HAIP_slides.pdf
18. https://aisi.go.jp/assets/pdf/20250808_AISI_jp.pdf
19. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_expert_panel/2kai/2kai.html
20. <https://digital-supporter.net/japan-ai-vision/>
21. <https://clairlaw.jp/blog/2025/05/ai-1.html>
22. <https://note.com/sakak9498/n/n8a252dd3c2f8>
23. https://x.com/cao_japan/status/1985981726569742668
24. <https://www.komei.or.jp/komeinews/p452141/>
25. <https://spaceshipearth.jp/ai-2/>
26. <https://wp.shojihomu.co.jp/archives/146921>
27. <https://www.mpn.or.jp/blog/article2501>
28. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA040Z90U5A101C2000000/>

29. https://note.com/nec_iise/n/na8075c30a4c4
30. <https://www.kottolaw.com/column/240924.html>
31. <https://ameblo.jp/akaike-masaaki/entry-12943392747.html>
32. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_plan/aipplan2025g_draft2.pdf
33. <https://www.youtube.com/watch?v=mmyhS8Du1Mg>
34. https://www.gov-online.go.jp/press_conferences/minister_of_state/202509/video-301519.html
35. https://aisi.go.jp/assets/pdf/20251003_1.pdf
36. https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu29/siryu/1418998_230726_00009.html
37. <https://www.youtube.com/watch?v=26ijezXrDEw>
38. https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2025/04/research_introduction_elsi_elsi_university_summit_01.pdf?1744329600091
39. <https://www.chunichi.co.jp/article/1154906>
40. https://www8.cao.go.jp/cstp/bridge/keikaku/r6-h05_bridge_r6.pdf
41. https://www.cao.go.jp/minister/2411_m_kiuchi/kaiken/20250801kaiken.html
42. <https://www.chunichi.co.jp/article/1156796>
43. <https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20250916.html>
44. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_expert_panel/2kai/shiryu1_1.pdf
45. <https://mainichi.jp/articles/20251104/k00/00m/010/292000c>
46. https://aisi.go.jp/assets/pdf/20241017_CEATEC.pdf
47. <https://www.nisc.go.jp/council/cs/kenkyu/>
48. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/446981>
49. <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20250228-OYT1T50052/>
50. <https://infomation-sytem-security.hatenablog.com/entry/what-is-hiroshima-ai-process>
51. <https://innovatopia.jp/ai/ai-news/69339/>
52. <https://x.com/patesalo/status/1978879210350383307>
53. <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd228520.html>
54. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA080RB0Y5A001C2000000/>
55. <https://patesadon.com/@patesalo/115385064404792048>
56. https://www.gov-online.go.jp/hlj/ja/november_2025/november_2025-08.html
57. <https://j-aic.com/techblog/ai-governance-202506>
58. <https://www.yomiuri.co.jp/choken/kijironko/ckscience/20251105-OYT8T50049/>
59. <https://www.soumu.go.jp/hiroshimaaiprocess/supporters.html>
60. https://nobdata.co.jp/report/creative_ai/01/
61. <https://www.yomiuri.co.jp/politics/20250528-OYT1T50095/>
62. https://www.soumu.go.jp/main_content/000450498.pdf
63. <https://aisi.go.jp>
64. https://www.mext.go.jp/content/20250701-mxt_sinkou01-000043465_04.pdf
65. http://www.21ppi.org/theme/data/180531_2.pdf
66. <https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2509/20/news009.html>

67. <https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/index.html>
68. https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ai_shakai_jisso/pdf/20210709_1.pdf
69. https://aisi.go.jp/output/output_information/251031/
70. <https://www.cao.go.jp>
71. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_expert_panel/gijiyoushi.pdf
72. https://note.com/akihisa_shiozaki/n/n2c5cf1c51b6d
73. https://www.mext.go.jp/content/20230718-mtx_syoto02-000031167_011.pdf
74. <https://www.imagazine.co.jp/aisi-evaluate-tools/>
75. <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/1706490>
76. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_senryaku/13kai/shiryou2.pdf
77. <https://ifi.u-tokyo.ac.jp/projects/ai-governance/>
78. https://note.com/ai_driven/n/n03692c797a72
79. <https://innovatopia.jp/ai/ai-news/58252/>
80. https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/tweet/1985817441256292690?detail=1&ifr=tl_twdtl&rkf=1
81. https://note.com/rami_engineer/n/n0e3dbb483446
82. https://note.com/norio_sakaoka/n/n8398187c558e
83. https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_plan/aipplan2025g_draft1.pdf
84. <https://coconala.com/blogs/1101389/658640>
85. <https://www.digitalpolicyforum.jp/column/250826/>
86. <https://www.cryptopolitan.com/ja/top-official-ai-consciousness-wrong-question/>
87. https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/tweet/1985847111074922826?detail=1&ifr=tl_twdtl&rkf=1
88. https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2025/0515_12.html
89. https://biggo.jp/news/202508192102_AI_Bubble_Warning_and_Shadow_AI_Usage_Study
90. <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO92376320U5A101C2LKB000/>
91. https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2025/1030_08.html
92. https://note.com/econ101_/n/nb73c3aba3bee
93. <http://x.com/search?q=cStp&f=media>
94. https://www.keidanren.or.jp/policy/2025/025_honbun.pdf